

柳緑花紅

やなぎはみどり はなはくれない

茶席でも用いられるこの言葉。

出典は、中国宋代の書家・詩人である蘇軾そしやくの詩の一節で、その意味は、「柳は緑、花は紅、これが本来のありのままの姿だ」というものであり、自然のあらゆるものがそのままで真実を具現しているさまを表しています。

このことを「当たり前前のことだ」と受け取る方は多いことでしょう。しかし、私たち人間は、本来のあり方を生きることができているでしょうか？

自然の法則の中で、縁あってこの世に生まれた私たち。その法則に従わず、自らの欲望を振り回してはいないでしょうか？

亡くなられた、大本山永平寺第十七十八世貫首・宮崎奕保えいほ禪師は、そのことを戒める、次のようなお言葉を残されております。ご一緒に味わいましょう。

自然は立派やね

わたしは日記をつけておるけれども

何月何日に花が咲いた

何月何日に虫が鳴いた

ほとんど違わない 規則正しい

そういうのが 法だ

法にかなったのが 大自然だ

法にかなっておる

だから 自然の法則をまねて人間が暮らす

人間の欲望に従っては 迷いの世界だ

真理を黙って実行するというのが 大自然だ

誰に褒められるということも思わんし

これだけのことをしたら これだけの報酬が

もらえるということもない

時が来たならば ちゃんと花が咲き

そして黙って 褒められても 褒められなくても

すべきことをして 黙って去っていく

そういうのが 実行であり

教えであり 真理だ



大安寺参道の柳

各種講座「新春写経会」のお知らせ

○日時…平成二十三年一月三日(月) 午後一時～三時半

○場所…大安寺中広間にて ○定員…二十名(要事前予約)
※詳しくは、チラシ、ホームページ、携帯サイトをご覧ください。
お手本をなぞるだけでですので、初心者の方でもお気軽にどうぞ。

各種講座「新春坐禅会」のお知らせ

○日時…平成二十三年一月三日(月) 午後四時～五時半
○場所…大安寺大広間にて ○参加自由(事前予約不要)
○集合時間…午後三時五十分 ○集合場所…大広間
○服装…足の組みやすい服装でお越しください。
※坐禅指導を行いますので、初心者の方でもお気軽にどうぞ。

行事カレンダー(平成二十三年一月～五月)

■一月一日(土) 午前0時～ 元朝大般若祈祷(本堂)
大般若経を転読し、皆さまの災障消除・福寿無量をお祈りいたします。

■三月十五日(火) 午前十一時～ 涅槃会(本堂)
お釈迦さまの入滅「涅槃」にちなみ、その遺徳を追慕し、報恩感謝する法要です。恒例の「だんごまき」も行います。

■三月二十一日(春分の日) 午前十一時～ 彼岸会(本堂)
ご先祖さまに感謝し、自らを見つめ直すお彼岸の中日に行う法要です。

■五月八日(日) 午前十一時～ 四月八日花まつり(本堂)
お釈迦さまの誕生「降誕」をお祝いする法要を行います。また、本堂前ではお釈迦さまの像に甘茶をおかけします。

※詳細が決定いたしましたら、皆さまにご案内いたします。
同日 大安寺花まつり特別行事(予定)

編集後記

これまで約三年間、曹洞宗総合研究センター教化研修部門で学ばせて頂いておりましたが、お陰さまをもちまして、同部門を修了予定となりました。来年四月より、ここ大畑の地に戻り、当寺にて活動をさせていただく予定です。今度とも、どうぞ宜しく願ひ申し上げます。(編集担当…長岡俊成)

次号のご案内

第八号は平成二十三年三月十五日に発行予定です。